講義名称	幼児教育心理学
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	2年前期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	子ども福祉学科（3）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24200411

担当教員

氏名	所属
◎ 奥田　裕紀	大学・人間社会科学部・社会福祉学科

授業概要	障害のあるこどもを含む、幼児、児童の心身の発達および学習の過程について学習する。また、乳幼児期・児童期における学習・記憶・知能・動機付け・個人差・指導法と評価などについて学習する。また、障害のあるこどもを含む乳幼児。児童の理解や家族へのかかわり、保育における教育的な課題や相談などについて学習する。
到達目標	授業概要で示した内容について理解・考察し、説明できることを目標とします。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】 はじめに	
	【事前事後学修の内容】 大学図書館などで、関連図書を選択し、講義内容に関する自主学習を行うこと	【事前事後学修時間（分）】 90
第2回	【授業計画】 教育心理学の目的と方法	
	【事前事後学修の内容】 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	【事前事後学修時間（分）】 90
第3回	【授業計画】 教育的評価	
	【事前事後学修の内容】 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	【事前事後学修時間（分）】 90
第4回	【授業計画】 学習過程の基礎	
	【事前事後学修の内容】 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	【事前事後学修時間（分）】 90

第5回	【授業計画】 学習過程と知能	
	【事前事後学修の内容】 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	【事前事後学修時間（分）】 90
第6回	【授業計画】 乳幼児・児童の学習過程	
	【事前事後学修の内容】 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	【事前事後学修時間（分）】 90
第7回	【授業計画】 記憶のしくみと学習過程	
	【事前事後学修の内容】 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	【事前事後学修時間（分）】 90
第8回	【授業計画】 こどもの特性の理解とその測定方法	
	【事前事後学修の内容】 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	【事前事後学修時間（分）】 90
第9回	【授業計画】 発達理論と学習過程	
	【事前事後学修の内容】 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	【事前事後学修時間（分）】 90
第10回	【授業計画】 こどもの家庭、幼稚園・保育所、こども園などの生活における社会的行動と学習過程	
	【事前事後学修の内容】 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	【事前事後学修時間（分）】 90
第11回	【授業計画】 各種の障害と障害のあるこどもや周囲の人の理解とかかわり、学習過程（各種の障がい）	
	【事前事後学修の内容】 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	【事前事後学修時間（分）】 90
第12回	【授業計画】 各種の障害と障害のあるこどもや周囲の人の理解とかかわり、学習過程（かかわりと学習過程）	
	【事前事後学修の内容】 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	【事前事後学修時間（分）】 90
第13回	【授業計画】 保育における教育的課題、学習過程と家族との相談（基礎）	
	【事前事後学修の内容】 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	【事前事後学修時間（分）】 90

第14回	【授業計画】 保育における教育的課題、学習過程と家族との相談（発展）	
	【事前事後学修の内容】 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	【事前事後学修時間（分）】 90
第15回	【授業計画】 まとめ	
	【事前事後学修の内容】 これまでの学習内容を振り返り、まとめておくこと	【事前事後学修時間（分）】 120

履修に必要な予備知識や技能	大学図書館などで、教育心理学に関する図書を選択し、読んでおくこと
課題に対してのフィードバック	授業内で行った課題については、可能な限り当該授業、次回授業などで解説します。
評価方法・基準	講義への取り組みの状況（20%）、定期試験（80%）等に基づいて総合的に評価します。
教科書	教科書は、特に指定しませんが、資料配布などをします。参考書：「幼稚園教育要領解説」文部科学省（フレーベル館）、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省（フレーベル館）、「保育所保育指針解説書」厚生労働省（フレーベル館）
備考	本科目は、教職課程などに関連する科目であるため、シラバスの基本的な内容を維持します。必要に応じて、Google Classroomやyoutubeなどを用いることがあります。講義内容に関連した課題、テーマなどについて、考察・意見交換・発表などを行います。
実務経験の内容・期間	なし